

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度 第3回茨木市立北陵中学校 学校運営協議会
開催日時	令和8年2月25日(水) (午前・ <u>午後</u> ) 3時30分 開会 (午前・ <u>午後</u> ) 4時30分 閉会
開催場所	茨木市立北陵中学校 2階会議室
出席者数	5人
欠席者数	3人
開催形態	<u>公開</u> / 非公開
議題(案件)	(1) 今年度の学校運営と来年度の学校運営について (2) 教育活動の今後について
配布資料	(1) 学校通信、年間計画通信など

## 議 事 の 経 過

### 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

(1) 今年度の学校運営と来年度の学校運営について

- ・地域で、子どもが注意を受けた際、高圧的な叱り方をすると、子どもは、口答えをする傾向がある。目線を合わせて、危険なことにつながる行為であることを伝えていく必要がある。

## 議 事 の 経 過

### 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

- ・生徒状況については、受験の年は、子どもは誰もがストレスと不安を抱えている様子があり、受験による精神的不安定さにも気づきにくい状態があったが、進路が先に決まったあとも、現在も、進路が決まっていない生徒のことを考えた行動や雰囲気があり、子どもたち同士のつながりを感じる部分があったということに対して、普段の取り組みや集団としての育成があった上で個々の生徒が成長していることにつながっているという評価をいただいた。
- ・今後の部活動の存続のところにおいて、子どもたちが縦のつながりを感じられる教育活動を今後も大切にしてほしいといただいた。学校の既存の教育活動の中で、意識して縦のつながりを感じることをできるようなしかけを取り入れていくことを共有した。
- ・今の子どもたちが、希望をもって生きていくためには、社会や大人が元気であることが必要で、住みやすい社会をつくっていくことの大切さを共有しました。子どもたちが地域とつながりがあるから、地域行事にたくさんの中学生在が参加してくれる。

#### (2) 教育活動の今後について

- ・生徒がつながりあうために全教職員が対話で知り合う体験研修の推進やわかりやすい授業づくりをこれからも研究していく必要がある。
- ・どの子にとっても学校へ来やすい環境整備は、整いつつある。
- ・子ども一人ひとりの的確な理解と見合った教育支援をこれからも推進していく必要がある。
- ・子どもたちがつながりあえることや知り合おうとすることを工夫しながら教育活動に取り入れることに対して肯定的評価であった。
- ・学校教育目標『自分を大切に、他人<sup>ひと</sup>を大切に、命を大切に』における具体的な北陵でのめざす生徒像として地域の中の学校をテーマに『地域とともにある防災研修』を開催できた。今後も校区に住む、妊婦さんや障がいのある方、車いすuser、日本語が難しい方、お年寄りの方などが、安心して避難・避難生活できるように（あらゆる人権教育）、より多くの中学生と教職員が地域と協同して、今必要なことを目標に、全生徒・教職員・地域参加型の体験活動を推進していく（コミュニティ・スクールとしても機能すると考える。）という提示に対して、賛同をいただいた。

以上